

GR Garage 浦和美園

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup

第2戦

2024年6月16日(日)

オートポリス(大分県日田市)



GR Garage 浦和美園 CAMP レポート

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup の第2戦がオートポリスで行われました。プロフェッショナルシリーズには吉田広樹選手が出場。第2戦は日曜日に予選と決勝を行う1日開催です。吉田選手のサポートはGR Garage 浦和美園の大庭直人に加え、GR Garage 熊本中央の白石圭と西川卓見、ユナイテッドトヨタ熊本の水江雄大が行います。

日曜日の天候は晴。10時から行われた予選には29台が出走。吉田選手は予選開始の合図とともにコースに入り、2周目に2分07秒508のタイムをマーク。13位につけました。トップ10圏内を狙える順位ですが「後半区間でミスがあった」と悔しさをにじませる吉田選手。タイムが拮抗するプロフェッショナルシリーズの難しさを改めて感じる予選となりました。

決勝(10周)は14時から行われ、吉田選手はイン側、13番グリッドから順当なスタート。しかし、第1ヘアピン手前で接近してきた車両と接触し、大きくポジションを下げてしまいます。吉田選手は19位でオープニングラップを終了。車両に大きなダメージはなく、本来のペースで追い上げを開始します。2周目に坂口選手(72号車)をパスすると、4周目に16位、6周目に15位までポジションを回復。さらに7周目にペースの落ちてきた宗藤選手(550号車)をパスし、9位争いの集団に加わります。しかし、残り周回数はわずかで、抜きどころの少ないオートポリスではそれ以上のポジションアップはできず、吉田選手は14位でチェッカー。決勝後、上位の選手が失格となったため、正式結果は13位となりました。

一方、クラブマンシリーズには2022年のYaris Cupチャンピオン、大森和也選手が出場。GR Garage 浦和美園の渡邊颯人と一平与野の大日方敦がサポートします。大森選手は初めてのオートポリスながら土曜の専有走行でトップタイムをマーク。GR86/BRZ Cup 初表彰台はもちろん、初優勝も期待できる状況です。

予選は日曜日の9時30分から行われ、27台が出場。大森選手は2周目に2分13秒012をマークし、予選5位を獲得しました。決勝(10周)は13時から行われ、やや鈍いスタートとなった大森選手は1コーナーまでにポジションダウン。上位選手のコースアウトにより、予選順位と同じ5位でオープニングラップを終えます。大森選手は3位集団の中を走行。ペースは良好で、4位の塙選手(311号車)を追いかけます。6周が経過し、集団が広がり始めた後も塙選手をぴったりマーク。テールトゥノーズでの走行が続きます。決着は8周目、第2ヘアピンで塙選手のインを奪取。並走状態で立ち上がり、続く右コーナーでオーバーテイクに成功します。大森選手はさらに3位を走る大西選手(557号車)に接近。ファイナルラップに入った時点での2台の差はコンマ7秒で、大西選手の背後まで接近します。しかし、ポジションは変わらず、コンマ2秒の差まで迫ったところで4位チェッカー。10ポイントを獲得し、ランキング4位につけています。

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

#160 GR Garage 浦和美園 BS GR86

吉田広樹選手 決勝 13位

予選 13位 (2分07秒508)

GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ

#522 GRG 浦和美園 CAMP GR86

大森和也選手 決勝 4位

予選 5位 (2分13秒012)



DRIVERS VOICE

GR86/BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ

吉田広樹選手

好調だった前日の専有走行と比べ、予選では少しマシンバランスが変化しましたが、途中まで好タイムが期待できる状況でした。しかし、終盤のミスでタイムが伸びなかったのが残念です。決勝のスタートは悪くありませんでしたが、第1ヘアピン手前で横並びだった車両と接触してしまいました。混戦の中、コース幅ギリギリだったので避けられるスペースがない状況でした。順位は大きく落ちましたが、その後のペースは良かったので、予選のミスがなければ混戦の少ない位置からスタートできただろうなと悔やまれます。気持ちを切り替えて次戦に臨みたいと思います。



GR86/BRZ Cup クラブマンシリーズ

大森和也選手

初めてのオートポリスでしたが、走り出しから調子が良く、SUGO より好きなコースだと感じました。予選は大きなミスなくまとめられたと思いますが、それ以上にまわりが速かったです。決勝はスタートで力が入り過ぎてしまいました。その後のペースは良かったと思います。3位の大西選手に対しても自分のペースの方がよく、ファイナルラップの第2ヘアピンで仕掛けるつもりでしたが、その手前でミスしてしまったのが悔やまれます。4位という結果はシリーズランキングを考えれば悪くないですが、表彰台が見えていただけに悔しい気持ちの方が今は強いです。



MECHANIC VOICE

一平与野支店 大日方敦さん

レース参加は昨年のスーパー耐久以来2回目ですが、ワンメイクは初参加です。スーパー耐久は役割分担が明確になっているのに対し、ワンメイクはメンテナンスからセット変更までやるのが幅広く、よりプレッシャーを感じます。しかし、レースウィークの大まかな流れはスーパー耐久と同じなので、昨年の経験を活かして行動できたと思います。

次戦予告 第3戦 7月13日(土)～14日(日) 富士スピードウェイ(静岡県)

PARTNERS



有限会社アイ・ティ・アイ



株式会社カーグラス・JP



K-one



埼玉スリーボンド株式会社



ティーズ・ワークス



株式会社デンソーソリューション



トヨタモビリティパーツ株式会社
トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ブリヂストン



丸和工業株式会社



株式会社ミノルインターナショナル



Mechanix Wear LLC



株式会社リキテック



レカロ株式会社

SPECIAL THANKS

